

第 180 回 BA エグゼクティブサロン概要 (4/22)

テーマ：

“アドレスサブル CM”と ISDB 方式における実装

～ 数百万同時視聴の放送×個別最適化×計測×真正性 ～

講演者：伊藤 正史 (いとう まさし) 氏

株式会社フジテレビジョン メディア技術開発部 チーフエンジニア

卓話概要：

昨今、インターネット広告が急成長し、世界の広告市場は大きく変化しています。欧州では、一斉同報による圧倒的なリーチ力を持つ放送に、個別最適化やファネル分析などの高度な運用が可能なインターネット広告を融合させる「アドレスサブル CM」が登場。日本でも ISDB 方式の現行放送でフジテレビが初の実用化に成功したことで、注目を集めています。一部のインターネット広告では偽広告が社会問題となる中、日本のアドレスサブル CM には広告情報の真正性を担保し、安心して視聴できるアドブランドセーフティ技術も盛り込まれています。本講演では、これらを支える放送通信連携技術や世界的動向について解説し、広告効果の可視化や ROI 向上に資するデータ連携など、今後のテレビ広告技術の可能性を展望します。



略歴：

2001 年、株式会社フジテレビジョン入社。送出・回線部門を経て、2013 年より技術開発および放送規格化、放送制度関連業務に従事。専門はコネクテッド TV、放送通信連携、配信技術など。近年はアドレスサブル CM 技術の研究開発を推進。著書に『図解雑学 暗号理論』（ナツメ社）、『暗号の大研究』（PHP 研究所）ほか。